

調査研究活動実績

氏名 新風・くろしおの会
代表 野町雅樹

本年度（28年4月～29年3月分）の政務調査研究に関する、主な活動の実施状況を報告します。

1. 本年度の政務調査活動等に関するレポートの作成及び報告会の開催

県議会における質問内容や調査研究活動等を県政レポートとして取りまとめ、安芸市、芸西村の全世帯及び関係者に配布した（H28.12、H29.3）。平成28年7月12日に安芸市穴内、また、平成29年1月27日に芸西村において県政報告会を開催した。会場には、それぞれ80人、60人以上の地域の皆さん、また、来賓として溝淵村長、三石文隆県議、下村勝幸県議らに参加いただき、地元の皆さんを中心に和気藹々とした和やかな報告会となった。その中で、いただいた貴重な意見や要望については真摯に受け止めしっかりと対応している。

この他、安芸市議会OBの皆さんとの勉強会、安芸市自主防災組織連合会等での熊本地震現地調査報告会への参加、さらに、安芸市川北、伊尾木、東川、下山、井ノ口、芸西村等、各地区でミニ報告会を開催するなど、随時活動報告を行った。（写真あり）



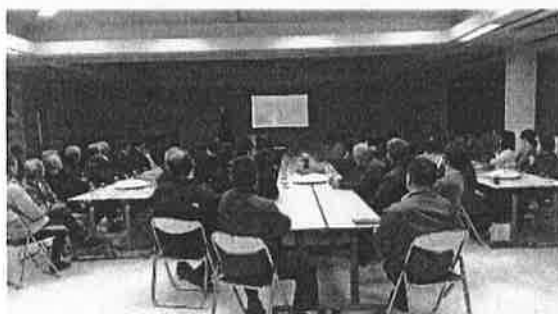
安芸市穴内地区県政報告会（28.7.12）



安芸市議会OB会（28.11.14）



芸西村県政報告会（29.1.27）



県政レポート用 vol. 3



県政レポート用 vol. 4

【 下村分 】

本年度（28年4月～29年3月分）の政務調査研究に関する、主な活動の実施状況を報告します。

1. 本年度の政務調査活動等に関するレポートの作成及び県政報告会の開催

県議会における12月定例議会での一般質問内容を県政報告VOL.3として取りまとめ、黒潮町の全世帯及び高知県内の関係者に配布した（H29.1.31発行）。今回の報告書も前回と同様に質問数も多く、全体で12ページのボリュームとなったが、お読みいただいた県民の皆さまから、多くは好評のご意見を頂けた。特にこの議会では黒潮町で開催された「世界津波の日」高校生サミットin黒潮に関連するものや、四万十市の県立中村高校で開催された「高校生と県議会議員とのパネルディスカッション」などの地元での出来事を取り上げたこともあり、反響も大きく感じられた。



更に2月定例議会では一問一答での質問内容を、県政報告VOL.4として取りまとめ、黒潮町の全世帯及び高知県内の関係者に配布した（H29.3.31発行）。今回は県内の漁業者を取り巻く諸問題について取り上げた。本質問内容についても漁業者の皆様から概ね好評価を頂いた。今後も現場主義に徹し県内の地域課題を掘り起こしながら、様々な視点での提言を行っていきたい。

また、この平成29年3月31日をもって「新風・くろしおの会」を解散し、県議会自民党会派への移籍となるため、その旨の報告並びに説明を行うための資料印刷等を行い、翌年度5月13日の県政報告会での実施に向けて準備を進めた。

他にも黒潮町内の各集落や各種団体との県政報告会や意見交換会を実施した。

【黒潮町議会議員】

- ◎ 黒潮町議会議員との意見交換会（第3回）：H28年4月11日実施
- ◎ 黒潮町議会議員との意見交換会（第4回）：H28年7月27日実施
- ◎ 黒潮町議会議員との意見交換会（第5回）：H28年11月14日実施
- ◎ 黒潮町議会議員との意見交換会（第6回）：H29年1月24日実施

【町内集落単位での県政報告会】

- ◎ 上川口王無地区（H28.4.9）
- ◎ 上川口王迎地区（H28.4.10）
- ◎ 奥湊川地区（H28.4.16）
- ◎ 藤縄地区（H28.4.30）
- ◎ 伊与喜地区（H28.4.30）
- ◎ 蜷川地区（H28.5.1）
- ◎ 上川口浦地区（H28.5.7）

☆ H28年7月12日及びH29年1月27日には野町県議の県政報告会にも出席させていただいた。

2. 韓国における調査研究活動

*別添参照

議員派遣視察概要

全羅南道姉妹交流協定締結&高知県ビジネスマッチング in 大韓民国

2016年10月29日～11月1日

高知県と韓国全羅南道は、1997年に「木浦の母」と慕われた田内千鶴子さんの記念碑建立をきっかけに交流が始まり、2003年に観光・文化交流協定、2009年に産業交流協定を締結するなど、両県道は友好交流を発展させてきた。相互理解と友好交流をさらに深め、産業や地域振興をはじめ、地方自治体に共通する重要な課題とともに取り組み、相互発展に繋げるために、この度、姉妹交流協定を締結することとなり、この立会と併せて、全羅南道議員団との意見交換や姉妹交流レセプションへの参加、商談会への参加を目的とした議員派遣に同行し視察をしてきた。

○高知県議会議員団及び全羅南道議員団の意見交換について

ムミョンキュ議長はじめとして全羅南道議會議員8名と高知県議會議員9名が参加した。各議員の自己紹介のあと、武石議長より日本では子どもの貧困等が課題となっている現状が述べられ、今こそ田内千鶴子さんの功績とあわせて、全羅南道議会と高知県議会がともに世界孤児の日の制定に向けて協力していく事を提案し、その方向性を確認した。

○道内視察

近代の歴史通りを散策し、日本軍による開発と統治があったことを知る。道内の住民感情としては日本を心から良く思えない歴史的な背景があるように感じた。その架け橋となったのが「木浦の母」田内千鶴子さんであることがわかる。

○木浦共生園

愛は国境を越えて題され、1928年に孤児7名と生活を共にしたことからはまった共生園。朝鮮戦争のさなか、行方不明となった夫の帰りを待ちながら共生園を運営し、三千人の孤児を育て上げた「木浦の母」田内千鶴子さんの記念館なども視察した。障害を持つ子どもたちの歌と踊りで歓迎を受ける。

○姉妹交流協定締結式および記念植樹

前夜は全羅南道名誉道民となった西森潮三氏や田内千鶴子さんの生涯を描いた「愛の黙示録」で主演された石田えり氏も参加され、全羅南道の伝統演舞にて歓迎を受けた。

2016年10月31日10時より、全羅南道14名、日本13名の知事及び議員団と高知県民間訪問団27名と全羅南道関係者17名参加のもと、無事に姉妹交流協定締結がなされた。両知事により記念植樹も行われた。

○商談会

ソウルのプレジデントホテルにて、尾崎知事により、高知県の観光や特産品のトップセールスが行われた。民間訪問団の皆様も通訳を介して売り込み、韓国側も興味津々で商談会が行われた。今後の展開に期待したい。



歓迎レセプション・全羅南道知事、議長らと



歓迎レセプション会場



全羅南道議員団との意見交換会



全羅南道議員団の皆さんと



高知県産木材等を扱う企業訪問



旧木浦日本領事館



木浦共生園の皆さんと



木浦共生園の子供たちによる歓迎セレモニー



両知事による協定書への調印



庁舎前での記念植樹



全羅南道知事、長嶺特命全権大使、石田えりさんと



ソウルでの商談会における知事のプレゼン



商談会場の様子



商談会場でのよさこい踊りの披露